

施 工 要 領 書

製 品 名	水性錆止めコーティング剤 水性サビシラズ
-------	--------------------------------

特 長

- 1 コートで防錆＋基材保護が可能な水性タイプのクリアーコーティング剤です。(本製品は錆止めプライマーではありません。)
- 金属基材への密着性良好で、基材そのものを活かした仕上げとなります。
- 主剤(水性・非危険物)と硬化剤(第 4 類第二石油類)の 2 液混合タイプのため、混合液は水性・非危険物となります。

用 途

- 鉄・アルミ・ステンレス等各種金属、カラー鋼板等の防錆、保護及び汚れの抑制。(ガルバリウム鋼板・表面処理された金属等には適用できないケースがありますので事前テストの上、ご確認ください。)
- FRP、人工木材、コンクリート・モルタル等の保護及び汚れの抑制。(既に出ているエフロレッセンスは完全に止めることはできません。)

【対象施工面(例)】

- ・ベランダ・バルコニー等の金属製フェンス
- ・折板屋根等の金属建材・外装建材
- ・自動車・フォークリフト等車両の外装塗装面・下廻り
- ・エアコンの室外機
- ・FRP
- ・人工木ウッドデッキ
- ・コンクリート・モルタル 注) 施工後 1 ヶ月未満のセメント材料(コンクリート等)には使用できません。

※対象基材の表面仕上げ・風化劣化の程度・使用目的等に応じてご選択ください。本施工前に必ずテストを行ってください。詳しくは、弊社営業担当者にご相談ください。

調 製 方 法

配合比(重量比)		
主剤 (乳白色液体)	硬化剤 (無色透明液体)	水
4	1	1

※混合調製は正確に行ってください。

※必ず先に硬化剤と水の事前混合分散を充分に行ってください。

硬化剤と水の混合分散が不十分だと不具合が発生します。

※絶対に主剤に硬化剤を直接加えないでください(ダマになり塗装できません)。

①主剤4と硬化剤1を量り取ってください(重量比)。



②硬化剤に同量の水1を加えてください(重量比)。



水を半分ずつに分けて混合・攪拌すると硬化剤を均一に分散できます。

外観変化の目安: 硬化剤のみ(無色透明液体)

硬化剤1＋水半量 0.5(高粘度澱粉ノリ状液体)

硬化剤1＋水全量1(乳白色液体)

③均一な乳白色になるまでよく混ぜてください。



④硬化剤＋水混合液を主剤に加えてよく混ぜてください。



混合液(主剤＋硬化剤＋水)は、夏場4時間程度、冬場8時間程度で増粘・固化しますので、施工面積に応じて必要量を配合し、当日中に使いきってください。

使用 方 法

- ①施工面に汚れ・ゴミ・ホコリ・油分・ワックス等が付いていると密着が悪くなりますので、充分に洗浄除去して乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化等の原因となります。
- ②施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- ③調製した混合液(主剤:硬化剤:水=4:1:1)をプラスチック容器に入れ、刷毛・ローラー等で基材全体に塗りムラ・液だまりができないように、表面が均一な濡れ色になるように塗布してください。一度に大量の液を容器に移して施工すると仕上がりに差が生じる場合があります。適量を容器に移して施工してください。
- 刷毛やローラー等による塗布施工の注意事項**
塗液の粘度が高いため、スジ目・スジムラ等が発生します。ご注意の上、必ず試し塗りを行ってください。
塗液が乾いて固着すると取れにくくなりますので、作業前に水を張ったバケツを準備し、使い終わった容器・器具から水の中に浸し固着しないようにしてください。作業後に全ての部材をしっかりと水洗浄してください。
- ④気温 25℃、相対湿度 50%の条件のもとで、15～20 分で指触乾燥しますが、性能発現(供用)には24時間程度かかります。24時間は水がかからないようにしてください。
- ⑤塗り重ね施工も可能です。気温、湿度によりますが 1 回目の塗布から30～60分の間で 2 回目を塗布してください(塗布直後の塗膜は乾燥硬化とともに15～30分で乳白色から無色透明に変わります)。
- ⑥吸水性の高い基材に塗布する場合や塗液の粘度を調製したい場合は、調製した混合液(主剤:硬化剤:水=4:1:1) 100%に対し水10%で希釈して使用することが可能です。水希釈した場合は、塗液のはね返りや塗膜の乾燥時間の遅れ・液だれ・ハジキ・白化等が発生しますので、事前確認の上ご使用ください。(原液使用推奨)
※膜厚が不十分な場合は、十分な塗膜性能が得られませんのでご注意ください。

標準塗布量 (1 回当たり) 100～200g/m² ※塗布量は基材によって多少異なります。

使用 上 の 注 意

- 揮発性の溶剤を含み、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
- ①主剤は不燃性、硬化剤は引火性の物質です。必ずミヤキホームページの最新のカatalog・施工要領書・使用上の注意・SDSをよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ・密着不良等が発生する場合がありますので、本施工前に同じ基材を用いて必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ②エアレス・スプレー施工は必ず充分な換気対策を行い、換気が不十分な場所では絶対に使用しないでください。施工対象物以外には絶対に充分な養生を行ってください。
- ③施工対象物以外に誤って塗布した場合は、速やかにお湯もしくはお湯で濡らしたタオルで拭き取ってください。充分に除去できない場合はエタノール(無水)をご使用ください。
- ④適切な調製方法でお使いください。過剰の水や溶剤、異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。施工時の適切な環境は、気温及び基材温度が 15～30℃かつ、湿度が 50～75%です。施工時に上記の条件を満たさない場合は、環境を改善してください。
- ※適切な施工条件を満たさない場合は白化・ムラ・密着不良・乾燥不十分によるペタつきが起こる可能性があります。
- ⑤塗布後 24 時間は、水がかからないようにしてください。
- ⑥芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
- ⑦作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑧余った塗液及び廃液は適切に処理してください。
- ⑨必ず適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・防毒マスク等)をお使いください。取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑩口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
- ⑪子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管し、運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。容器から出すときは、こぼさないように注意し、一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑫用途以外には使わないでください。施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。

※排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

●製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

性 状

	主 剤	硬 化 剤
外 観	乳白色液体	無色透明液体
消防法	水性・非危険物	第 4 類第二石油類 危険等級Ⅲ
取り扱い	—	火気厳禁
成 分	アクリルウレタン	
貯蔵性	共に 6 ヶ月 (5～30℃未開封状態で保管) ※直射日光や 35℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、屋内保管をお願いいたします。	

水性サビシラズ 配合量早見表

	全量	主剤 (乳白色液体)	硬化剤 (無色透明液体)	水
配合比 (重量比)	6	4	1	1
①	0.6kg (600g)	400g	100g	100g
②	1.2kg (1,200g)	800g	200g	200g
③	1.8kg (1,800g)	1,200g	300g	300g
④	2.4kg (2,400g)	1,600g	400g	400g
⑤	3kg (3,000g)	2,000g	500g	500g
⑥	6kg (6,000g)	4kg (4,000g)	1kg (1,000g)	1,000g
⑦	12kg (12,000g)	8kg (8,000g)	2kg (2,000g)	2,000g

※必ず重量比(kg、g)で量り取ってください。主剤、硬化剤を容量比(ℓ、ml)で量り取ると正常な配合比となりませんのでご注意ください。
水は 1g=1ml(1,000g=1ℓ)として換算可能です。

標準塗布量(1回当たり)

100～200g/㎡
※塗布量は基材によって多少異なります。

水性サビシラズの容量

主剤	硬化剤
4kg	1kg